

令和8年10月23日

報道機関各位

熊本大学

第41回熊本大学附属図書館貴重資料展

「江戸時代前期 熊本藩大密偵展」について

熊本大学では、附属図書館と永青文庫研究センターの共催で、附属図書館に所蔵している古文書を展示公開する貴重資料展を毎年開催しています。今年の貴重資料展は「江戸時代前期 熊本藩大密偵展」をテーマとして開催します。

永青文庫細川家文書や松井家文書には、薩摩だけではなく、筑前・筑後などで活動した密偵の報告書や関連史料、それに忍者衆に関する史料が多数伝存しています。このたびの資料展では、それらの史料を厳選して一堂に展示し、連邦制的な諸藩連立の体制を繋ぎとめた密偵たちの活動の様相と歴史的意義を探っていきます。

初日（11/1（日））には、テーマに関連した公開講演会/第20回永青文庫セミナーも開催しますので、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材をよろしくお願いいたします。

記

＜貴重資料展＞

【テーマ】「江戸時代前期 熊本藩大密偵展」

【期間】令和8年11月1日（日）～11月3日（火・祝） 10：00-17：00

＜3日間限定＞ ※最終日は16：30に終了

＜同時開催：公開講演会/第20回永青文庫セミナー＞

【演題】「17世紀細川家の密偵派遣 その目的と背景」

【講師】稲葉 継陽（熊本大学永青文庫研究センター長 教授）

【日時】令和8年11月1日（日）14：00～最長で16：00

【定員】先着130名＜予約不要＞

* 公開講演会/第20回永青文庫セミナーは、後日、附属図書館ウェブサイトへ動画を掲載予定です。

-----以下、貴重資料展・講演会/セミナー共通-----

【会 場】熊本大学ひご未来図書館（中央館）1階（熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）

【対 象】一般市民（興味があるかたはどなたでも）

【参 加 費】無料 事前申込の必要はありません。

【駐 車 場】紫熊祭期間中につき、車両入構はできません。公共交通機関をご利用ください。

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news/7629>



【問い合わせ先】

熊本大学附属図書館 担当：森下

TEL：096-342-2212

第41回熊本大学附属図書館貴重資料展

江戸時代前期

入場・聴講 無料

熊本藩大密偵展

同時開催

公開講演会・第20回永青文庫セミナー

演題

「17世紀細川家の密偵派遣 その目的と背景」

講師

稲葉継陽

(熊本大学永青文庫研究センター長 教授)

展示会

令和8年11月1日(日)～3日(火・祝) 10時～17時

ただし、最終日は16時30分に終了

講演会・
セミナー

令和8年11月1日(日) 14時開演(最長2時間)

会場

熊本大学ひご未来図書館(中央館) 1階

共催 熊本大学附属図書館・熊本大学永青文庫研究センター

協力 公益財団法人永青文庫

後援 熊本県教育委員会・熊本市教育委員会・熊本日日新聞社
NHK 熊本放送局・RKK・TKU・KKT・KAB

熊本大学は、株式会社肥後銀行とネーミングライツ事業契約を締結し、附属図書館中央館の愛称を「ひご未来図書館」としています。

m

熊本大学
キャンパスミュージアム

フェスタ
国立大学2026



貴重資料展は熊本大学キャンパスミュージアムの一環で実施しています

江戸時代前期 熊本藩大密偵展

令和5年(2023)、熊本大学所蔵松井家文書の中から、慶安4年(1651)に熊本藩から鹿児島藩領内に派遣された密偵の報告書が発見されたとの報道が話題となった。さらに、密偵の村田門左衛門という人物が、薩摩境の芦北郡の地侍であったことも判明した。藩と藩との境目の住民の活動に依存して得られる情報が、対外関係の最前線にあたる九州の安定を維持するのに一役買っていたことが明らかになったのだ。

実は、永青文庫細川家文書や松井家文書には、薩摩だけではなく、筑前・筑後などで活動した密偵の報告書や関連史料、それに忍者衆に関する史料が多数伝存している。それらを一堂に展示し、連邦制的な諸藩連立の体制を繋ぎとめた密偵たちの活動の様相と歴史的意義をさぐる。

芦北郡の密偵を統括した佐敷番代の本拠



(正保4年[1647]) 佐敷町絵図(部分、熊本大学所蔵松井家文書)

芦北の地侍たちが密偵として薩摩に派遣され始めた時期にあたる正保4年(1647)に、芦北郡佐敷(現芦北町)で発生した洪水被害の状況を、八代にいる家老松井興長に報告するために作成されたとみられる貴重な絵図。近年の熊本大所蔵松井家文書の調査で存在が確認された。

興味深いのは、破却されて土を被せられた佐敷城の姿、西側の八代海の干潟に建設されていた加藤家の侍屋敷の跡、東側の薩摩街道沿いに栄えた佐敷町人町(本町、迎町、在郷町)、そして城跡の麓にある「坂崎清左衛門屋敷」である。坂崎は薩摩島津家に備えるため3年前に設置された「佐敷番代」に、藩主細川光尚の特命によって登用された重臣で、芦北郡地侍衆の中から密偵を選抜して統括した。村田門左衛門の報告書もここに届けられたのである。

永青文庫とは

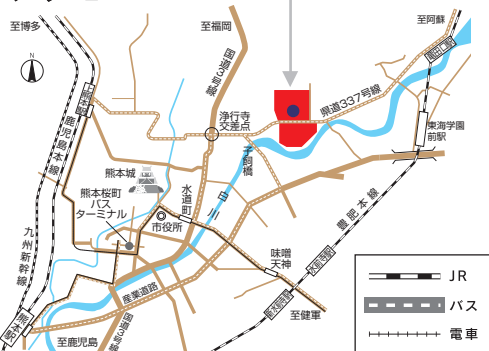
「永青文庫」は、かつて熊本藩主であった細川家に伝来した美術品や文学作品の写本、そして歴史資料(古文書・古記録)等を所有・管理する財団の名称です。これらの品々のうち、細川家北岡邸(熊本市)の蔵に保管されていた数万点の歴史資料や写本が1964年に熊本大学に寄託されました。寄託資料のうち9612通が国の重要文化財に指定されています。

松井家文書とは

「松井家文書」は、八代市の松井明之氏旧蔵の近世藩政史料および典籍類で、昭和30年代に熊本大学に移管されました。松井家は細川家の第一家老であり、豊前・豊後統治時代から明治初年までの史料は、永青文庫と相俟って貴重なもので、宮本武蔵に関する記述や密偵に関する記述、カンボジアとの貿易に関する記述など、新発見が相次いでいます。

今回の資料展では、永青文庫より28点、松井家文書より4点等を解説付きで展示します。

アクセス



熊本大学ひび未来図書館 〈中央館〉



◎熊本桜町バスターミナル (旧称:熊本交通センター)から(16番のりば)

- 産交バス:
楠団地、光の森産交行等(子飼橋経由)
- 熊本電鉄バス:
光の森駅行
「熊本大学前」下車 徒歩3分



※公共の交通機関をご利用ください。

熊本大学附属図書館公認キャラクター
「くまぼん」



附属図書館支援事業 ～熊大基金への寄附のお願い～

皆様からの寄附は、図書館を通じての学生サービスや社会貢献を十全かつ迅速に行うための事業に活用させていただきます。
みなさまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【熊本大学基金】附属図書館支援事業 <https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/donation>



問い合わせ

熊本大学附属図書館

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40-1
096-342-2212

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/>